

授業科目	特別研究 Special Study on Degree Thesis			担当教員	野村 秀一 廣田 昌彦 岡本 美紀 古賀 貴子 熊井まどか 藤井 俊輔		
展開方法	研究指導	単位数	10 単位	開講年次・時期	1～2 年／通年	必修・選択	必修
授 業 の ね ら い							
特別研究は、学生が選択した研究領域の講義・演習により修得した基礎・専門的知識や技術の活用、さらに研究領域に関連する研究論文（文献）の検討を踏まえて、決定した研究テーマについて研究計画を立案し、その計画に従って研究（実験・調査など）を実施し、得られた研究結果を科学的および総合的に論議しまとめをして、研究発表を行い、研究論文を作成できる能力を身に付けることである。							
	学 生 の 授 業 に お け る 到 達 目 標				評価手段・方法		評価比率
関心・意欲 ・態度	研究テーマに主体的、計画的、意欲的に取り組むことができる。				・公開審査（発表）		10%
思考・判断	研究テーマに沿った実験・調査などを自主的に考え行動に移し、問題解決に向け科学的かつ総合的な判断ができる。				・修士論文		30%
技能・表現	研究に必要な実験機器類、パソコン、統計・解析ソフトを使用することができる。 研究結果の検討・考察のために必要な情報収集ができる。 研究成果をわかりやすく発表でき、論文にまとめることができる。				・修士論文 ・公開審査（発表）		20% 10%
知識・理解	修得した基礎・専門的な知識と技術を活用して研究を実施し、研究成果をまとめることができる。 研究過程で生じる課題を解決することができる。				・修士論文		30%
出 席							受験要件
合 計							100%
評価基準および評価手段・方法の補足説明							
・ 修士論文（80%）、公開審査（発表）（20%）の割合で評価する。 ・ 修士論文は、論文の内容に科学的な妥当性があるかどうかを評価する。 ・ 公開審査（発表）は、発表の態度、研究に対する質疑応答の内容と態度で総合的に評価する。							
授 業 の 概 要							
学生が選択した研究領域の中から、指導教員の指導のもとに決定した研究テーマに即した基礎・専門的知識や技術の修得と確認を行いながら、研究計画を立案し、その計画に従い研究（実験・調査）を実施し、得られた研究成果を研究領域の学会において研究発表を行い、その後、修士論文を作成する。なお、論文作成においては、大学が行う研究倫理教育を受講し研究倫理の意義を理解した上で研究に努めること。							
教 科 書 ・ 参 考 書							
教科書：指導教員により、必要に応じて適宜指定する。 参考書：指導教員により、必要に応じて適宜指定する。							
授業外における学修及び学生に期待すること							
研究の遂行に必要な基礎・専門的知識と技術の修得、研究論文の読解力、調査力、論議力、発表能力を養うように、積極的・自主的に探究心をもって日々勉学に励んでください。 研究領域に関連する学会に出席し、多くの研究者の研究発表を拝聴して、多くのことを学んでください。							